

国際婦人年連絡会 2022 年度

第3回セミナー



リプロダクティブヘルス&ライツ ～経口中絶薬の承認がもたらすもの～

2023 年

日時

1 月 9 日 (月・祝) 15:00～17:00
(14:45 より入室可)

会場

Zoom によるオンライン開催 (参加費 無料 80 名)

講師： 塚原 久美さん

中絶問題研究家、RHR リテラシー研究所主宰
臨床心理士、公認心理師



<プロフィール>

翻訳・執筆業での活動を経て 2009 年金沢大学大学院社会環境科学研究科博士課程修了 博士(学術) 取得後、大学非常勤講師等。主著『中絶技術とリプロダクティブ・ライツ フェミニスト倫理の視点から』(2014 年)で第 34 回山川菊栄賞等受賞。訳書 ハーデカー『水子供養』(2017 年)、スティーブンソン『中絶がわかる本』(2021 年)、ノーグレン『新版 中絶と避妊の政治学』(2023 年再刊予定) 近著『日本の中絶』ちくま新書(2022 年)『中絶のスティグマをへらす本』Kindle 版(2022 年)『中絶薬のことがわかる本』アジューマブックス(2022 年末予定) 他多数。

1980 年代に開発された経口中絶薬による人工妊娠中絶は、全世界の 80 か国以上で使用されており、WHO が安全な方法として推奨しています。日本でも承認は時間の問題です。墮胎罪を残したまま中絶が行えるようにした日本では未だに手術を行っています。承認されてもパートナーの同意、面前内服、入院管理、高額な自費診療費などの問題が残ります。中絶薬で中絶ができるようになると、女性にとって何が変わのでしょうか。女性の自立(自律)を進め、刑法墮胎罪や母体保護法などの法律を見直す機運になるのかもしれない。

お申し込み方法

<https://bit.ly/3Fkm5EB>

開催日前日までに、Zoom 参加者用 URL をお送りします。
ご質問等がありましたら、下記にお問い合わせください。

セミナー事務局 yukko20100420@gmail.com

以下の URL または QR コードから、フォームを開いてご登録ください。

締切日 1 月 6 日 (金)



主催：国際婦人年連絡会

<https://iwylg-jp.com/> Eメール：iwylg-i@nifty.com